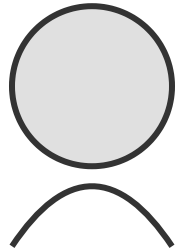


Google Map APIでスポット紹介Webを作る

～Google Apps Scriptと地図サービスで、あなたのおすすめを可視化しよう～

地図で伝えると、もっと「わかりやすく」なる



「ここ、説明しにくいんだよな...」
と手書きの地図を描いた経験はありませんか？

現場のよくある課題例

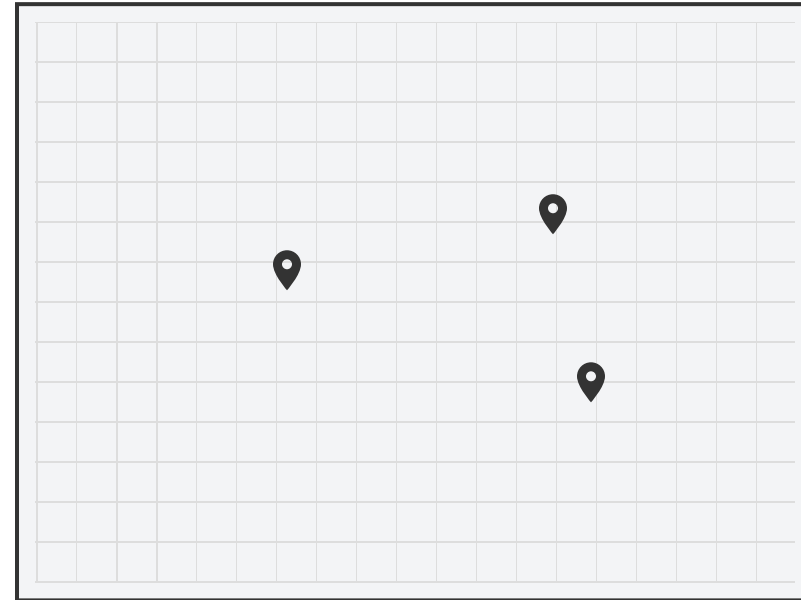
- 新人への案内に時間がかかる
- Google Mapのリンクをいちいち探して貼り付ける

本講座の学びの価値

地図×アプリ化で、簡単に誰かに"場所"や"魅力"を伝えられるツールが出来ます。

「自分の力で作れた！」という成功体験は、復職・再就職にも自信をもたらします。

完成イメージ



Webアプリ化の特長

- PCやスマホから簡単アクセス
- リンク一つで共有可能
- 情報更新も簡単

この講座で学べること



●地図表示



●マーカー追加



●Web公開

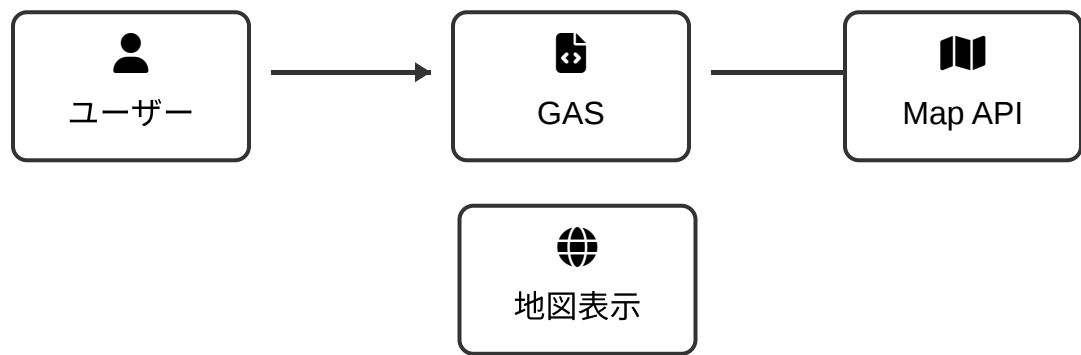
Google Map APIの仕組みをのぞいてみよう

Google Map APIとは？

Web上に地図を表示できる、Google公式のサービス。
Google Cloud Platform（GCP）のアカウントが必要です。

必要な構成

- HTMLファイル
- JavaScript（GASから埋め込み）
- Google Map APIキーの取得（GCPでMaps JavaScript APIを有効に）

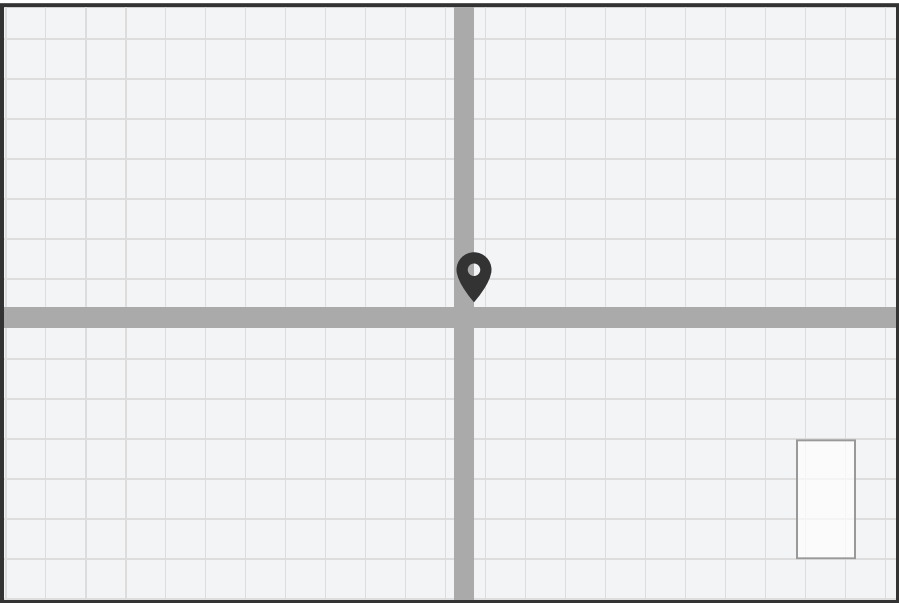


何ができるの？

今回使う機能にしばって紹介

- 📍 指定地点の地図を表示
- 📍 スポットにマーカーを置く
- 🗨️ 吹き出しに情報を表示する

Google Map APIの表示例



ポイント

難しそうに見えるけど、使うのはごく一部の機能だけ。テンプレートを活用すればすぐに始められます。

まずは地図を表示してみよう

手順解説

- 1 Google Apps Script 新規作成
- 2 doGet関数でHTML出力（テンプレート活用）
- 3 HTMLファイルに地図を埋め込むコード記述

コード例（抜粋）

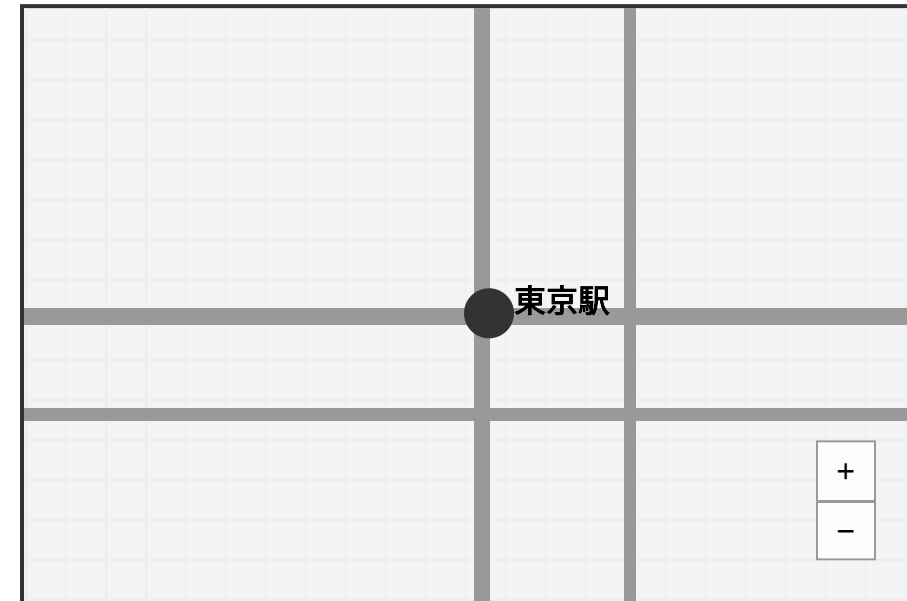
JavaScript側（GAS）

```
function doGet() {  
  return HtmlService.createHtmlOutputFromFile('map');  
}
```

HTML側

```
<div id="map"></div>  
<script>  
  function initMap() {  
    const center = { lat: 35.6812, lng: 139.7671 }; //  
    const map = new google.maps.Map(  
      document.getElementById("map"),  
      { zoom: 14, center: center }  
    );  
  }  
</script>
```

出力結果：東京駅を中心にした地図



実行結果のポイント

- 地図は指定した緯度・経度（東京駅）を中心に表示されます
- zoomの値で表示範囲が変わります（数値が大きいほど拡大）
- マーカーはまだ表示されていません（次のステップで追加）

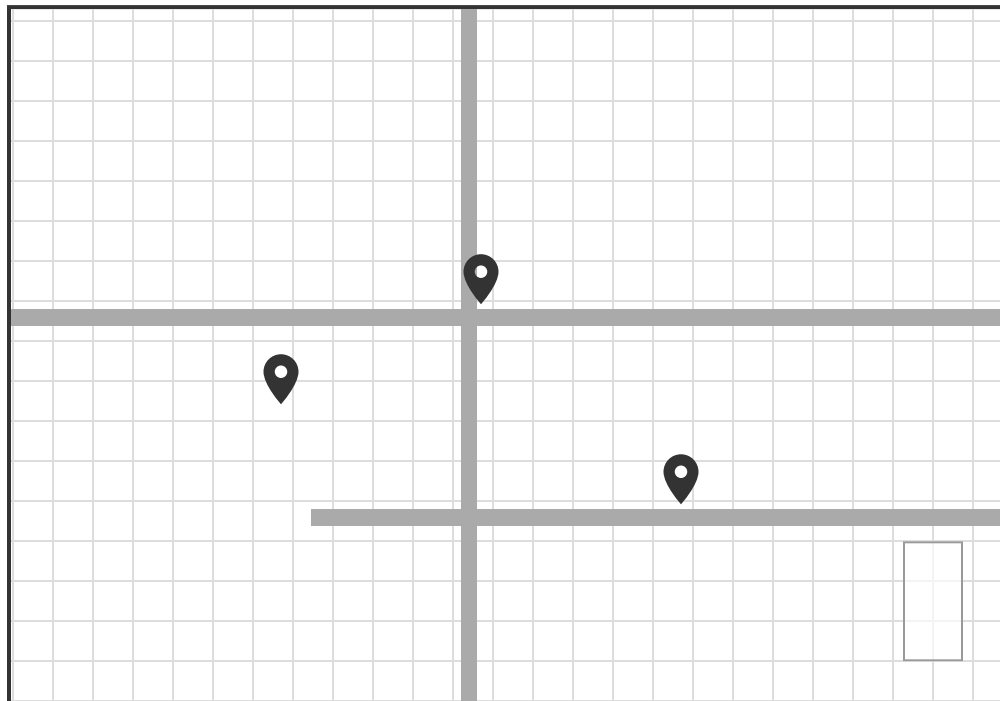


初めてでも安心

コードはテンプレートを活用しましょう！基本の形さえ理解できれば、自分のサイトに合わせてカスタマイズできます。

おすすめスポットにマーカーをつけよう

マーカー付き地図の表示例



スポットマーカーの基本構文

```
const marker = new google.maps.Marker({  
  position: { lat: 35.6895, lng: 139.6917 }, // 新宿駅  
  map: map,  
  title: "新宿駅"  
});
```

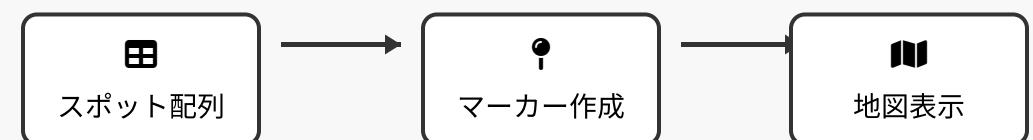
吹き出しにコメントを表示

```
const info = new google.maps.InfoWindow({  
  content: "おすすめのカフェがあります！"  
});  
marker.addListener("click", () => {  
  info.open(map, marker);  
});
```

新宿駅

おすすめのカフェがあります！

複数登録の仕方



スプレッドシート連携のポイント



配列にスポット情報をまとめておくと、後でスプレッドシートから読み込む形に簡単に変更できます。データと表示を分離することで、非エンジニアでもスポット管理が可能になります。

どんな仕事に活かせる？活用シーンの紹介

社内での活用例



営業用ルートマップ

訪問先を地図化して共有。効率的な回り方が一目でわかります。



イベント案内

会場・集合場所・周辺施設などをわかりやすく案内できます。



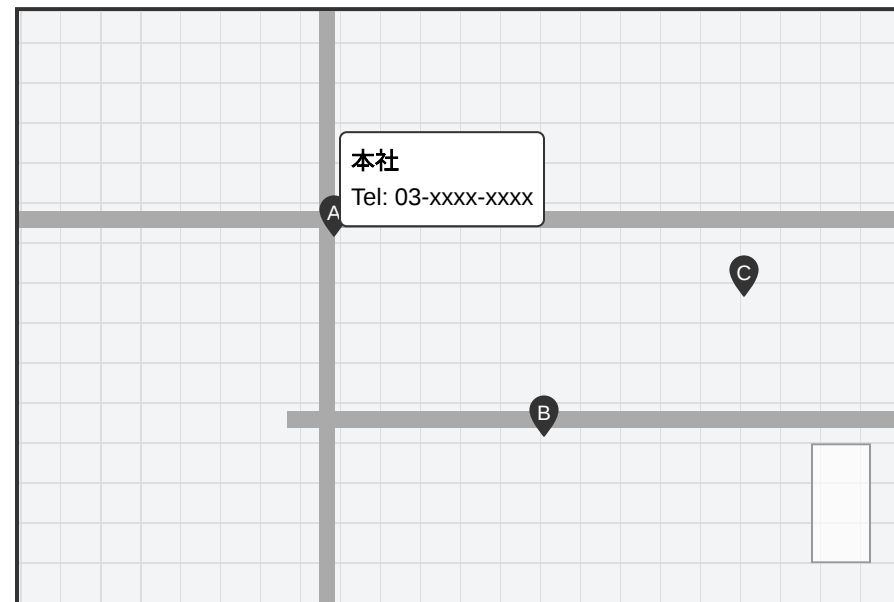
店舗・拠点案内

全国の支社や取引先を一覧で表示。地域ごとの管理も簡単です。

応用の工夫ポイント

- スプレッドシート連携：非エンジニアでも簡単に情報更新可能
- カスタマイズ：色分けやアイコン変更で見やすく

完成アプリの画面例：拠点案内マップ



実際の活用例

- 営業部：訪問先マップを作成し、効率的な回り方を共有
- 人事部：新入社員向け周辺施設案内に活用
- 総務部：会社の全拠点を一覧表示した社内ポータルを作成

💡 あなたの現場にも、きっと活かせる場面があるはずです

まとめ | できた！という自信を大切に

今日学んだ3つのこと

- ✓ **Google Map APIで地図を表示する方法**
HTMLとJavaScriptの連携で実現
- ✓ **スポットにマーカーと吹き出しを追加する方法**
位置情報とコメントで魅力が伝わる
- ✓ **作ったWebを社内で共有する基本のやり方**
GASの公開設定でURLを共有

メッセージ

少しでも「できた！」と感じられたら、
それは立派な前進です。

「自分の手で何かを作れる」ことが、
あなたのこれからを支えてくれます。



次は、あなたの地図をつくってみませんか？

一緒に創る喜びを感じてください

ワーク：自分だけのおすすめマップをつくろう！

演習課題

- 1 以下のスプレッドシートにスポットを3件登録

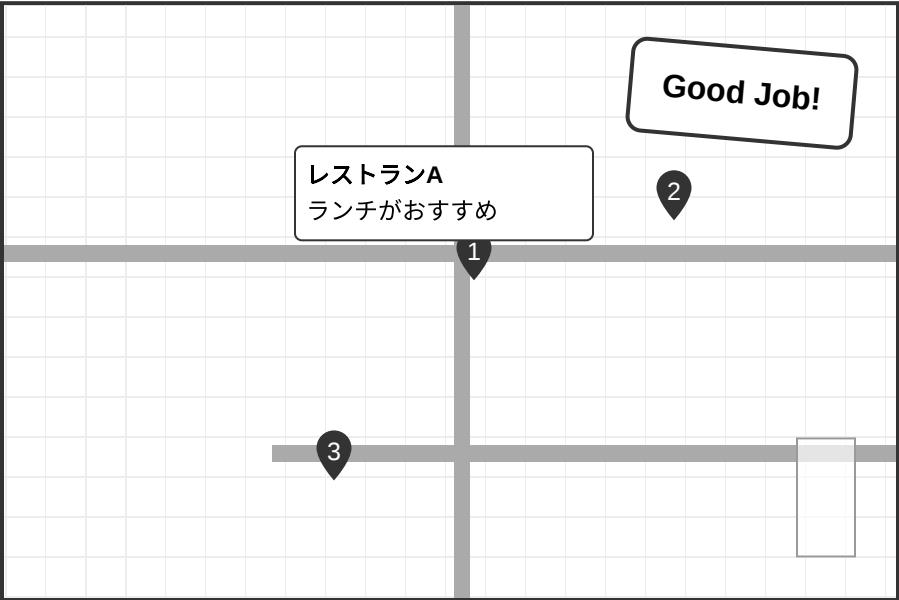
スポット名	緯度	経度	コメント
レストランA	35.6895	139.6917	ランチがおすすめ

- 2 スクリプトにスポットデータを読み込む配列を記述
- 3 地図にマーカー+吹き出しを表示

サポートメッセージ

- ✔ うまくできなくても大丈夫！
- ✔ 1つできたらそれだけですごい成果です
- ✔ 少しずつ、自分の地図を完成させてみましょう

完成イメージ



プレゼンテーションのポイント

- 作成した地図で「自分のおすすめ」を紹介してみましょう
- なぜそのスポットをおすすめするか
 - どんな人に役立つか
 - グループで共有し、感想を伝え合おう



あなたのおすすめ、誰かの役に立つかもしれません